

## 下水道未設置地区の住環境改善を

### 質問

市の下水道は、農業集落排水に始まりコミュニティ・プラントが行われ、公共下水道が急ピッチで工事中だ。

下水道を始めた理由は。

### 上下水道部長

河川の水質向上、住環境を守る重要な施設であると考えている。

### 質問

下水道のそばの住宅の方から、特に夏場はヤブカの発生や悪臭で困っていると切々と訴えられた。

### 下水道ができれば、家庭汚

水が用水に流れなくなり、悪臭などが解決される。しかし、下水道未設置の地域は悪臭などの住環境の改善ができない。下水道の未整備地区の住環境を下水道完備地区に近づける努力が必要ではないか。

### 経済建設部長

住環境に差のないような状況ができるように努力はしていく。

下水道の底張りなどは補助対象のメニューとして見当たらないが研究していく。

### 質問

底張りをすると、清掃しやすい。清掃は2年に1回程度行うべきだと思うが。

### 経済建設部長

必要に応じ対応をしていく。



下村 一郎 議員



## 超高齢社会に備え、今から研究を

### 質問

市も日本全国も、高齢化が一気に進行している。現在の高齢化率と将来の予測は。

### 福祉部長

本年4月1日現在で、高齢化率は26.3%となっている。平成32年度には、28.7%ほどに上昇するのではないかと。

### 質問

将来は5割を超えるのではとも聞いています。いずれにしても、高齢化が急激に進行していく。

この超高齢化社会は、予測される近未来の話だ。市全体で取り組まなければならない重要問題だ。

まだ全国的には、研究や計画の動きは少ない。

超高齢化社会を、市としてどう対応していくか考えは。

### 市長

少子高齢化を支える側と、支えられる側のバランスが大変厳しいものになってくるということとは、私自身も感じている。それに向けて取り組まなければならないと思っている。事前に備えるということが重要なことだ。